

くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい  
国立市地域福祉計画策定委員会  
ぎじろく  
議事録

だい かい れいわ ねん がつ にち  
(第6回 令和4年8月26日)



ぎじろく  
議事録

かい ぎ めい 会 議 名		だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい 第 6 回 国立市地域福祉計画策定委員会
にち 日	じ 時	れい わ ねん がつ にち きん ご ご じ ふん じ ふん 令和 4 年 8 月 2 6 日 (金) 午後 7 時 00 分から 9 時 00 分
ば 場	しょ 所	く に たち し や く し ょ かい だい かい ぎ し つ 国立市役所 3 階 第 1・2 会議室
しゅつ 席 者	い いん 委 員	はやし ひろ き やまぐち なお き かね こ けんたろう はやし みず ち か たかはし 林 大樹・山口 直樹・金子 健太郎・林 瑞哉・高橋 しのぶ やまじ のり お いのう え はる な ふじさわ ゆき お いのつめ え み こ 山路 憲夫・井上 晴菜・藤沢 行男・猪爪 恵美子
	じむきょく 事務局	けんこうふく しぶちよう ち い き ほう かつ けんこう すいしんたんとうぶちよう 健康福祉部長、地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、 ふく し そ う お か ち ょう ち い き ふ く し す い し ん か か り ち ょう ち い き ふ く し す い し ん か か り し ゅ に ん 福祉総務課長、地域福祉推進係長、地域福祉推進係主任 ち い き ふ く し す い し ん か か り し ゅ じ 地域福祉推進係主事
けっせき いん 欠席委員		そ ね なお き 曾根 直樹
ぎ 議	だい 題	だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい ぎ じ ろ く か く に ん 1. 第 5 回 国立市地域福祉計画策定委員会の議事録の確認 だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい ふ か え 2. 第 5 回 国立市地域福祉計画策定委員会の振り返り だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい き ょう ぎ じ こ う 3. 第 6 回 国立市地域福祉計画策定委員会の協議事項 (1) き ほん も く ひ ょう し さ く ほう し ん し さ く ほう し ん 基本目標 1 施策の方針 1～施策の方針 4 (2) き ほん も く ひ ょう し さ く ほう し ん し さ く ほう し ん 基本目標 2 施策の方針 1～施策の方針 4 (3) き ほん も く ひ ょう し さ く ほう し ん し さ く ほう し ん 基本目標 3 施策の方針 1～施策の方針 6 4. そ の 他 た
こうかい ひこうかい べつ 公開・非公開の別		こうかい 公開
ぼうちょうにん かず 傍聴人の数		めい 0 名
はいふしりょう 配布資料		しりょう だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい ふ か え しりょう 資料 1 第 5 回 国立市地域福祉計画策定委員会 振り返り資料 しりょう だい かい く に たち し ち い き ふ く し け い か く さ く て い い いん かい き ょう ぎ し り ょう 資料 2 第 6 回 国立市地域福祉計画策定委員会 協議資料 しりょう き ほん も く ひ ょう い い いん い けん 資料 3 基本目標 1・2 委員意見 しりょう き ほん も く ひ ょう じゅうてんてき と く し さ く い い いん い けん 資料 4 基本目標 3 重点的に取り組んでいく施策 委員意見



だい かい くにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい  
第6回 国立市地域福祉計画策定委員会

はやしひろきいんちよう ていこく だい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい かいさい  
【林大樹委員長】 それでは、定刻となりましたので、第6回国立市地域福祉計画策定委員会を開催  
いたします。

しだい だい かいくにたちしちいきふくしけいがさくていいんかいぎじろく かくにん じむきょく ねが  
それでは、次第の1、第5回国立市地域福祉計画策定委員会議事録の確認になります。事務局、お願  
いします。

じむきょく ぎじろく かくにん まえ ほんじつしりょう かくにん じぜん ゆうそう  
【事務局】 議事録の確認の前に、本日使用する資料の確認をさせていただきます。事前に郵送して

だい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい ふ かえ しりょう てんめ だい かいくにたちしちいきふくしけいかく  
おります「第5回国立市地域福祉計画策定委員会振り返り資料」、2点目が「第6回国立市地域福祉計画

さくていいんかいぎょうざしりょう てんめ きほんもくひょう いいんいけん てんめ きほんもくひょう じゅうてんき と  
策定委員会協議資料」、3点目が「基本目標1・2委員意見」、4点目が「基本目標3重点的に取り

く しさくいいんいけん てんめ だい かいくにたちしちいきふくしさくていいんかいぎじろく けい しゅるい しりょう  
組んでいく施策委員意見」、5点目が「第5回国立市地域福祉策定委員会議事録」の計5種類の資料を

しりょう ほんじつしりょう しりょう かん わす いいん  
使用いたします。本日使用する資料に関しましてお忘れになられた委員はいらっしゃいますでしょう

か。よろしいでしょうか。

(なし)

じむきょく だい かい ぎじろく かくにん おこな ぎじろく ごらん  
【事務局】 ありがとうございます。それでは、第5回の議事録の確認を行います。議事録を御覧い

かひつ しゅうせい ひつよう かしょ  
ただきまして、加筆や修正などが必要な箇所はございましたでしょうか。

いのうえいん ぎょうめ ちが しょうちゅう こなか ちが  
【井上委員】 20ページ13行目、ルビが違います。小 中 です。小中は違います。

ぎょうめ てつだ ひつよう ひと  
23ページ、2行目、「お手伝いが必要な人と」です。「人に」じゃないです。

し そうだん し そうだん  
27ページ、「お知らせや相談が」じゃないです。「お知らせや相談や」です。

28ページ、2つあります。16段目、「(14) 様々な意思決定支援の整備にしてほしいです」、「に」  
が抜けています。

28ページ、17段目、ACP制度反対です。「制度」じゃないです。

【林大樹委員長】 事務局のほうは、大丈夫ですか。

【事務局】 もう一度確認だけさせていただきます。20ページの下から7行目「小 中 高等学校」と  
正しくは記入するところが「小中」になっているので、そこを修正させていただきます。

続きまして、23ページの上から2行目「お手伝いが必要な人に関わってもらって」と書いてあると  
ころを、「お手伝いが必要な人と関わってもらって」に変更いたします。

27ページのところをもう一度教えていただけると大変助かります。

【井上委員】 27ページ、12段目「お知らせや相談が」じゃないです。「お知らせや相談や」です。

【事務局】 ありがとうございます。27ページの下から7行目から始まる場所ですね。「いつもの  
お知らせや相談が」になっているけれども、「いつものお知らせや相談や」でよろしかったでしょうか。

【井上委員】 平気。

【事務局】 ありがとうございます。

28ページ、下から3行目の「『様々な意思決定支援体制の整備』、してほしいです。」は「様々な意思  
決定支援体制の整備にほしいです。」という修正でございます。

28ページの下から2行目、「ACP制度反対の意見を聞いて」と書いてあるところが、正しくは

「ACP賛成反対の意見を聞いて」で間違いなかったでしょうか。「賛成と反対の意見」でしょうか。

いのうえい いん      さんせい    はんたい      せいど  
【井上委員】      「賛成と反対」です。「制度」じゃないです。

じむきょく      えーレーびーさんせい    はんたい    いけ ん  
【事務局】      ありがとうございます。「ACP 賛成と反対の意見」。

いのうえい いん      だいじょうぶ  
【井上委員】      大丈夫です。ありがとうございます。

じむきょく      しゅうせい    ひつよう    か し ょ  
【事務局】      ありがとうございます。ほかに修正が必要な箇所はございますでしょうか。

ありがとうございます。では、本内容でホームページに掲載をさせていただきます。また、前回

どうよう      ねが      ぎ じ ろ く さくせい    おこな    つごうじょう    ごはつげん    さい      かなら    きょしゅ  
同様のお願いではございますが、議事録作成を行 う都合上、御発言の際には必 ず挙手をしていただ

き、委員長が指名した後にお名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いいたします。また、本日、

かいじょう    つごうじょう      り    ほん      しょうきょう      じむきょく    つ   ど   つ   ど      も  
会場の都合上、1人1本マイクがない状 況 でございます。事務局で都度都度マイクをお持ちいたし

ますので、お渡し後、御発言のほどよろしくをお願いいたします。

はやしひろきいんちよう  
【林大樹委員長】      ありがとうございました。

つづ      しだい      だい    かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい ふ    かえ      ぜんかい ふ    かえ      おこな  
続きまして、次第の2、第5回国立市地域福祉計画策定委員会振り返りです。前回振り返りを行 い、

あらた      ふ    かえ      ひつよう    か し ょ    かくにん    おこな  
改めて振り返りが必要な箇所の確認を行 っています。

はじ      けいかく    い   ち   づ      ぜんかい    いいん    みなさま      じむきょく    しゅうせい    おこな  
初めに、1 ページ、「計画の位置付け」についてです。前回、委員の皆様には、事務局で修正を行

ないようおよ    す    かくにん      さい    いぜん    しりょう    しかくてき    み      とう  
った内容及び図の確認をしていただきました。その際、以前の資料より視覚的に見やすくなった等の

いけ ん      いのうえい いん      あらた      ないよう    かくにん      けいかく    い   ち   づ  
意見をいただき、井上委員には 改めて内容の確認をしていただくことになりました。「計画の位置付

け」を 改めて御覧いただき、委員の皆様より御意見はありますでしょうか。井上委員、いかがでしょ

うか。

いのうえい いん      けいかく    い   ち   づ      かくにん      ちいきふくしけいかく    き      けいかく  
【井上委員】      「計画の位置付け」の確認です。地域福祉計画で決まったことは、ほかの計画でもや

りますでいいですか。補足<sup>ほそく</sup>があります。

補足<sup>ほそく</sup>です。前は上位<sup>ぜんかい</sup>計画<sup>じょういけいかく</sup>に、国立市<sup>くにたちし</sup>の地域福祉<sup>ちいきふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>があって、それは土台<sup>どだい</sup>という形<sup>かたち</sup>でこのような

形<sup>かたち</sup>にしますというふうに意見<sup>いけん</sup>を伺<sup>うかが</sup>ったんですけども、土台<sup>どだい</sup>でも、上位<sup>じょういけいかく</sup>計画<sup>けいかく</sup>でも、国立市<sup>くにたちし</sup>の地域福祉<sup>ちいきふくし</sup>

計画<sup>けいかく</sup>で決まった計画<sup>き</sup>内容<sup>けいかくないよう</sup>とか、考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>とか、条<sup>じょう</sup>例<sup>れい</sup>外<sup>がい</sup>のことが盛り込<sup>も</sup>んであることは、この上<sup>うへ</sup>の個別<sup>こべつ</sup>

計画<sup>けいかく</sup>のほうでもきちん<sup>はんえい</sup>と反映<sup>かくにん</sup>されるのかということの確認<sup>かくにん</sup>です。

【林大樹<sup>はやしひろき</sup>委員長<sup>いんちよう</sup>】 事務局<sup>じむきょく</sup>、いかがでしょうか。

【事務局<sup>じむきょく</sup>】 今<sup>いま</sup>、井上<sup>いのうえ</sup>委員<sup>いん</sup>からお話し<sup>はな</sup>いただきました福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>に書いてあることがほかの計画<sup>けいかく</sup>で反映<sup>はんえい</sup>

されるかということでございますが、基本的<sup>きほんてき</sup>には、この地域福祉<sup>ちいきふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>が土台<sup>どだい</sup>となつてのほかの計画<sup>けいかく</sup>と

いう考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>がありますので、この福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>に書かれて<sup>か</sup>いることについては、基本的<sup>きほんてき</sup>にはほかの計画<sup>けいかく</sup>の

中<sup>なか</sup>でも考<sup>かんが</sup>えていくというような形<sup>かたち</sup>になっていくと考<sup>かんが</sup>えております。

【井上<sup>いのうえ</sup>委員<sup>いん</sup>】 もう1点<sup>てん</sup>、補足<sup>ほそく</sup>の確認<sup>かくにん</sup>で、もう少し細<sup>すこ</sup>かい形<sup>かたち</sup>になると、例えばフルインクルーシブ<sup>たと</sup>と

か、そういうふうな形<sup>かたち</sup>で言葉<sup>ことば</sup>ではっきり出<sup>で</sup>ているものが地域福祉<sup>ちいきふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>内で決まった場合<sup>き</sup>でも、ほかの

計画<sup>けいかく</sup>でもきちん<sup>めいき</sup>とそれが明記<sup>けいかく</sup>されて、計画<sup>けいかく</sup>を立てていく基準<sup>きじゆん</sup>になっていくのかということ、国<sup>こく</sup>しよ

う協<sup>きよう</sup>のほうでも聞かれていたので、そういうことも確実<sup>き</sup>に個別<sup>かくじつ</sup>計画<sup>こべつけいかく</sup>のほうにも反映<sup>はんえい</sup>されていきます

か。

【事務局<sup>じむきょく</sup>】 基本的<sup>きほんてき</sup>には、例えばしょうがいしゃ<sup>たと</sup>計画<sup>けいかく</sup>ですとか介護<sup>かいご</sup>の計画<sup>けいかく</sup>といったところにつきまし

ては福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>が土台<sup>どだい</sup>となつてという考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>でございますので、福祉<sup>ふくし</sup>計画<sup>けいかく</sup>に記載<sup>きさい</sup>されたものについて

は反映<sup>はんえい</sup>させていくという考<sup>かんが</sup>え方<sup>かた</sup>を持<sup>も</sup>っております。ただ、今の計画<sup>いま</sup>は、基本的<sup>けいかく</sup>に計画<sup>きほんてき</sup>期間<sup>けいかくきかん</sup>が若干<sup>じゃっかん</sup>ず



れているところもございますので、それについては福祉計画が決まった段階で、次のほかの個別計画

が策定される際には、この福祉計画を基にある程度考えていながら計画を策定していくような形

で進めていければと思っております。

【林大樹委員長】 井上委員、どうですか。

【井上委員】 考えてきます。

【林大樹委員長】 じゃ、まだその点については、今ここでは意見が言えないということですね。

【井上委員】 いいです。

【林大樹委員長】 分かりました。では、この「計画の位置付け」について、井上委員は持ち越して

いましたが、いいということです。ほかの委員からはございますか。

ないようでしたらば、この「計画の位置付け」については振り返りが終了しましたので、こちら

の内容で進めていきます。

つづきまして、2ページですが、『地域福祉と「公助・共助・互助・自助」』について振り返りを行

います。前回の委員会では、こういったところまで合意ができたと思うんですが、『地域福祉と「公助・

共助・互助・自助」』の内容については削除する。ただし、公助、共助、互助、自助の用語説明につ

いて必要だということになれば、それは使っていいと。ただ、そのときは序章の位置ではなくて、巻末

の資料編の中で使用することを検討しようという内容で前回の委員会ではまとまったと思うので

すが、そのとき井上委員は意見を留保されていたと思うのですが、この点について、前回のまとめに

ついての意見をいただきたいと思うのですが、井上委員、いかがでしょうか。

いのうえい いん ち い き ふ く し こ う じ ょ き ょ う じ ょ こ じ ょ じ じ ょ の い けい か く  
【井上委員】 『地域福祉と「公助・共 助・互助・自助」』を載せたくないです。要らないです。計画

の  
に載せてほしくないです。

はやしひろき いん ち ょ う ぜ ん か い い い ん か い さ く じ ょ い の う え い い ん  
【林大樹委員長】 それでは、前回のこの委員会ですとまとめたここは削除するということに、井上委員、

さんせい  
賛成されているということですね。

い い ん ぜ ん か い す す  
ほかの委員からはいかがですか。前回のまとめで進めてよろしいですか。

ち い き ふ く し こ う じ ょ き ょ う じ ょ こ じ ょ じ じ ょ ふ か え し ゅ う り ょ う  
では、『地域福祉と「公助・共 助・互助・自助」』についての振り返りは終 了 しましたので、こち

な い ょ う す す  
らの内容で進めていきます。

つづ し み ん い し き ち ょ う さ お よ し せ い よ ろ ん ち ょ う さ み ち い き げ ん じ ょ う ふ  
続きまして、4ページからの「市民意識調査及び市政世論調査から見る地域の現 状」について振り

か え お こ な ぜ ん か い い い ん か い し み ん い し き ち ょ う さ こ う も く な か ひ と か ん が  
返りを行います。前回の委員会では、市民意識調査の項目の中に、「(3)しょうがいのある人への考

か た けい さい じ む き ゃ く し ょ う ない けい さい お こ な た い  
え方」についてというのが掲載されており、事務局より、資料内に掲載を 行 ったことに対するおわび

こ う も く ひ と か ん が か た こ う も く さ く じ ょ む ね は っ ぴ ょ う  
と、その項目、しょうがいのある人への考 え方という項目を削除するという旨の発 表がありました。

い い ん さ く じ ょ い け ん い ま わ た し て も と し ょ う  
委員より、削除したほうが良いという意見もありました。今、私 たちの手元にある資料はそうように

て ん ぜ ん か い い の う え い い ん い け ん  
なっているものですが、この点につきまして、前回井上委員から意見をまだいただいていたの

き ょ う お も い の う え い い ん  
で、今日いただければと思いますが、井上委員いかがでしょうか。

いのうえい い ん し み ん い し き ち ょ う さ し せ い よ ろ ん ち ょ う さ の ひ と  
【井上委員】 市民意識調査と市政世論調査を載せたくないです。「あなたは、『しょうがいがある人

み ち か せ い か つ か ん が か た お も  
が身近でふつうに生活していることがあたりまえだ』という考 え方について、どう思いますか？」を

けい か く な ん か わ の  
計画からなくしました。アンケートに何で書いたか分かりません。またアンケートに載るかもしれな

し ん ば い し ん ば い か ん が く に た ち し な ん き  
い、心配です。ほかのアンケートも心配です。アンケートを 考 えた国立市が、何でみんなに聞いたの

わ か分からないです。こわ 怖い。だから、の 載せたくないです。ほそく 補足があります。

ほそく 補足です。しみんいしきちょうさ 市民意識調査のほうに、ぜんかい いま 以前の、い のうえ い 井上さんがいふぶん ぬ 言った部分は抜きますということだった

んですけども、ここにまず載せるにしても、けいかくじたい ふくし そうむ か おも 計画自体は福祉総務課だと思んですけども、アン

ケート自体は別の課がやっていて、くにたちしぜんたい このアンケートをにん かた だ 3000人の方に出しているという

ことだと思んですけども、おも きじゆん 基準で、こうもく えら おく どういうふうに項目が選ばれて送られているかということ

がはっきりしない中で、なか けいかく しりょう つか たい しんぱい かん 計画の資料として使われることに対して心配を感じていて、いふぶん きじろく その部分が議事録

よ を読んでいても、ないよう いふぶん ちょうさ しゃかん 内容をの部分が、せいさくけいえいか せつもん しゃかん 設問を所管する担当課において

も内容の確認をなくにん てってい 徹底していきますというふうにしていて、ないよう かくにんじたい てってい 内容の確認自体が徹底されていない中でこ

れをしりょう なか の 資料の中に載せていくのがいいことなのかということのしんぱい いまげんざい 心配があるので、今現在でははっきりし

ていないものをここに載せていくということをき ぐ 危惧しています。ですので、いふぶん その部分がしっかりしな

い限りは、かぎ かくじつ つか 確実になぜそれが使われていたのか、じたい もんだい アンケート自体の問題になってくると思

ので、それをここに載せていく、の けいかく かんが それを計画でどのように考えていくかというものにすこ ちが するのは少し違

うかなと思っているので、おも いけん あ このような意見が上がっています。

はやしひろきいんちょう 【林大樹委員長】 かくにん いま わたし てもと しりょう ひと ちょっと確認ですが、今、私たちの手元にある資料は、「しょうがいのある人の

かんが かた こうもく さくじょ かたち 考え方」という項目は削除した形になっていますが、それだけでなく、しみんいしきちょうさ しせい 市民意識調査、それから市政

よろんちょうさ りょうほう ちょうさけっか けいさい もんだい 世論調査、両方の調査結果の掲載が問題であるということですか。

い のうえい いん 【井上委員】 そうです。そういうふうな かんが かた 考え方です。け そもそも1つのものを消せばいいという

かんが かた えら 考え方ではなくて、1つのものであってもなぜそれが選ばれたのかということのこんぽんてき もんだい 根本的な問題、アン

ケートを出したりする際に、国立市がどういう考 え方<sup>かんが かつ た</sup>で出しているのかということの根本的な問題<sup>こんぽんてき もんだい</sup>

だと思うので、1つ消せばいいということではないかなというふうな心配<sup>しんぱい</sup>があって、こういう意見<sup>いけん</sup>が  
で  
出ています。

【林大樹委員長<sup>はやしひろきいいんちょう</sup>】 御意見<sup>ごいけん</sup>としては分かりましたが、ちょっとその点<sup>てん</sup>についてこの会議<sup>かいぎ</sup>の議題<sup>ぎだい</sup>にさら

に追加<sup>ついか</sup>するということは、できればしたくないと思うんですが……。

【井上委員<sup>いのうえいいん</sup>】 なので、もしこれを載<sup>の</sup>せるというふうに、計画<sup>けいかく</sup>を立てているのは福祉総務課<sup>ふくしそうむか</sup>なので、

の  
載<sup>の</sup>せるとするんだったら、その部分<sup>ぶぶん</sup>がしっかりと分<sup>わ</sup>かった上<sup>うえ</sup>でないと賛成<sup>さんせい</sup>できないということが

今回<sup>こんかい</sup>上げている意見<sup>いけん</sup>。アンケート自体<sup>じたい</sup>がどういうものだったのかという問題点<sup>もんだいてん</sup>がなくて、その部分<sup>ぶぶん</sup>

だけして取りあえず載<sup>の</sup>せましょうというふうなのが正しい<sup>ただ</sup>でしょうか。正しい基準<sup>ただ きじゆん</sup>にならないと思う

んですね。だって、どういふふうな考 え<sup>かんが</sup>でアンケートを出<sup>だ</sup>したのかというのが、1つの差別<sup>さべつ</sup>の問題<sup>もんだい</sup>が

あ  
上がっている中で、市民<sup>なか しみん</sup>に何を聞<sup>き</sup>きたかったのかということ、1度アンケート内<sup>ど</sup>の中でも考 え<sup>ない なか かんが</sup>なき

やいけないことなのではないかという考 え方<sup>かんが かつ た</sup>です。

【林大樹委員長<sup>はやしひろきいいんちょう</sup>】 ありがとうございます。ほかの委員<sup>いいん</sup>の皆様<sup>みなさま</sup>から意見<sup>いけん</sup>を頂戴<sup>ちやうだい</sup>したいと思うのです

が、そのあたりの国立市側<sup>くにたちしがわ</sup>の考 え方<sup>かんが かつ た</sup>が明確<sup>めいかく</sup>でない限り、具体的<sup>かぎ</sup>に言う<sup>ぐたいてき い</sup>と、4ページ、5ページ、6ペ

ージ、7ページ、このアンケート調査結果<sup>ちやうさけつ か</sup>が載<sup>の</sup>っているところは掲載<sup>けいさい</sup>すべきでないということで、そ

うい御意見<sup>ごいけん</sup>なのですが、いかがでしょう。

【山路委員<sup>やまじいいん</sup>】 これは事務局<sup>じむきょく</sup>から後<sup>あと</sup>で答<sup>こた</sup>えていただきたいんですが、市民意識調査<sup>しみんいしきちやうさ</sup>とか、それから市民<sup>しみん</sup>

世論調査<sup>よろんちやうさ</sup>というのは、市<sup>し</sup>の考 え方<sup>かんが かつ た</sup>とか価値判断<sup>か ちはんだん</sup>があつてやるものではなくて、要<sup>よう</sup>するに意識<sup>いしき</sup>の概要<sup>がいよう</sup>を

調べるためにどこでの市もやっていることで、それは国立市も同じなんです。それで、無作為抽出、

これも基本的にどこの市も同じで、全数調査ということは、特にこの種の世論調査とか市民意識調査

ではやれないものだから、こういう形で無作為で、まさに作為なく抽出してやるというのはもうし

ようがない話なんです。

それで、この計画全体の中身づくり、その後に出てくる「国立市の現状から見える課題」というそ

の脈絡から考えると、国立市の現状というのは、市民意識の現状というのはどこにあるのかとい

うのを知るデータがないと後の課題が議論できないわけですから、それを抜きに、全く現状から見

える課題を、このお話の筋道からして計画を変えていくということとはできないという意味で、この

市民意識調査と市民世論調査は出さざるを得ないと思います。これを削除するというのはできないと

と思いますが、事務局のほうはいかがですか。

【事務局】 今、山路委員からお話しいただいたとおり、意識調査につきましては市民の日常的な意識

を把握するということと、あとは行政システムの指標の達成度合いを把握する目的で、3000人を

無作為抽出で抽出しているという調査でございます。世論調査につきましても、基本的には、基本

構想、基本計画策定の際の市民の意識を確認するための調査ということで調査をしている内容でござ

います。

今、山路委員がおっしゃっていただいたように、基本的には、ここに載せたのは現状の把握をする

ための1つの指標という考え方でこちらに掲載したというのが事務局側の目的でございますし、

委員会の中でもそういう方向でお話しいただいていたかなとは思っております。この内容について、

もし削除する、または載せるということ、再度、委員会の中で確定するようであれば、その旨、事務局のほうでも考えていければと思います。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。井上委員からの意見、それに対して山路委員からの御意見がありまして、福祉総務課の考え方も示されました。ほかの委員の皆様からはいかがですか。

【井上委員】 補足です。山路さんがおっしゃっていたのは分かっていて、計画を立てるときにこういうものが必要であるということは分かっているんですけども、無作為抽出というのも事務局に聞いて分かっていて、前回、曽根さんから、18歳以上の市民ということで、どういう市民が対象になったかということもプラスされて、決して当事者の人とかそういう人たちじゃない市民の人たちがということも細かく分かったんですけども、ただ、何でも今回、しょうがいがある人が身近でということ、消すに当たったかということは、単純に山路さんが言っているみたいに、国が出しているものをそのまま国立市が使っているとはとても思えなくて、アンケートの内容自体はどういうふうを選んでいのかとか、その辺のところが国立市が考えているものを流しているんだとしたら、どういった市民の意識が知りたくてアンケートをしようと思って聞いていたのかという部分がまず気になったところ、国立市にはいろんな条例がある中で、改めてそれに反するような聞き方をすること、は、一体なぜなんだろうというのが、今回「あなたは、『しょうがいがある人が身近でふつうに生活していることがあたりまえだ』という考え方について、どう思いますか？」というのの疑問で、国立市がつくっている条例の中には、しょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち宣言条例、略して言いますけれども、というのがある中で、そういう条例があるのに、改めて、しょうがいを持っている人

たちが身近に住んでいるというのはどういことですかと聞くといことは差別を生むといことに  
つながらなかったんだらうって思わけですね。

なので、自分たちが決めている条 例とい国立市が守らなければいけないものがある中で逆説的  
な 話 を振っている意味って、何が知りたくてですかとい疑問が出てきてしまうと、ほかのものに  
対しても、どうい意図でこれを聞いているんだらうと思だったので、まずその説明がない中では、意図  
はわかりますけれども、これを基に考えていくとい部分では矛盾が生じてしまうので、このアン  
ケートとか、その指標になるであらうリサーチしたものといのをもう少しきちんと説明してもらわ  
ないと、載せていいか悪いか、それを基に数値化した市民の意識はこうなんだといふうに立ててい  
いものなのかといのが非常に疑問だとい意見が上がっています。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。アンケートについての疑念があるといことはよく分か  
りましたが、ただ、今私たちがまとめようとしている計画としては、市民の意識がどうであるかとい  
うことについてのデータが必要であるといことで、これを引用しているんだと思わうんですね。です  
から、その引用元のアンケートの設計思想といか、そのあたりに疑念があったとしても、結果とし  
て、データとして使うといことはできるのではないかなとも思わうのですが、そのあたりどうですか。  
ほかの皆様からございますか。

【金子委員】 設問の項目をつくるときの妥当性みたいなところの問題なのかなといのもあるんで  
すが、具体的な 話 でいくと、今回ここに掲載されている例えば「あなたは、何らか福祉活動に取り組  
んでいますか？」といところ、すごく意図的なものを感じたりとかといことはないので、特に

今回削除をしてほしいというところについては、ひょっとしたら、しょうがいしゃの条例のことをちゃんと知っていますかということを知りたいのかなというふうに実は思ったんですけども、聞き方があまりよくなかったんじゃないかなということを考えると、今回出ているこの質問の項目については特段問題がないというふうに私は思うので、使ってもいいんじゃないかなというふうに考えます。

【林大樹委員長】 ほかにいかがでしょうか。

【山口委員】 今回いただいた振り返り資料のところに出ているアンケート調査の内容は、非常に数も少なくなって、ポイントを絞れているなと思って私は見ていたところであります。最初に頂いたのは非常に多くあり過ぎて、これは載せたらわけが分かんなくなっちゃうというのが正直なところで、その中で細かく見ていくと、井上委員が言われたような、危惧されるようなことも中にはあった。それはそれで問題点としてきちっと受け止めていかなきゃいけないんですけども、この福祉計画をつくるに当たって載せる内容の問題だろうと思うので、僕は今回の振り返り資料の中に載っているアンケート調査は、これはもうこれで載せていただいて活用していくということで、計画の中身に入っていくということでよろしいんじゃないかと思っております。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。ほかの委員からは、猪爪委員は御発言がありますか。

【猪爪委員】 いろんな意味で、例えば問いで、「あなたは、国立市内で地震や災害が起こったときに生命・財産が守られていると思いますか？」も、市のほうではちゃんと守っていきますよと言っているところで、アンケートにおいては、市ではそう言っていますが、本当に守られているかと思えます



かということだと思っおもうんですけれども、イエス・ノーを出したいという場合においての質問の仕方と

いうのはこういう形 かたち しかないのかなとは思おもいます。項目においても、みんなが関心を持かんしんっているところ

ろであったり、やっぱり問題点であったりするので、この状 もんだいてん 態で妥当かなとは思おもいます。

【林大樹委員長】 はやしひろきいいんちよう みな 皆さんから出だしましょう。藤沢委員、いかがでふじざわいいんしょう。

【藤沢委員】 ふじざわいいん 私 わたし も、当初アンケートの内容が多くてどうかとうしょなと本ほん当に思おもいましたけれども、この

資料では、まず絞しりようっていたいて非しほ常に分ひじようかりやすいということと、また、その次のステップへ進すすむ

意 い 味 み でも必要だと思おもいます。

【林大樹委員長】 はやしひろきいいんちよう たかはしいいん 高橋委員、いかがでたかはしいいんしょう。

【高橋委員】 たかはしいいん 私 わたし も、最初にこの意識調査を見たとさいしょき、聞き方についてちいしきちようさ ょっと違和感を感じたとい

うのは正 しょうじき 直 さくじょ ありました。削除した質問以外も含めてです。ただ、それをもっと早く私 わたし も発 はつげん 言すれば

よかったなと今感 いまかん じています。ああいう差別的な設問が1つあると、やっぱりこういう懸念 けんねん というの

は誰 だれ しも感 かん じてしまうものだと思 おも っています。今後のためにも、今後 こんご こういう計画 けいかく をつくるに当 あ たっ

て、こういった意識調査とかを使う場合には、私自身も思 いしきちようさ いましたけれども、全部で例 ぜんぶ えば何項目 た あ

ったのかとか、全体としてはどうい ぜんたい う質問 しつもん があ なか ったのか、その中から何 なに を抽 ちゅうしゅつ 出してここ の に載 の せたの

かという全体像 ぜんたいぞう が、委員にも少 いいん し資 すこ 料 しりよう として示 しめ されると、そこに意 い 図 と があ ひつよう ったのか、必要 こうもく な項目とし

てここ の に載 すこ せたのかというの わ がもう少 こんご し分 かいぜん かりやすいのではないかなと、今後の改善 かん として感 かん じまし

た。

ただ、市民 しみん から現 げんじよう 状 き をき いしき ちゃんと聞 き く、意識 たし を聞 き くにはやはり確 かた かにこの聞 き き方 かた しかないだろうな

と。あまりここにいろいろ加えてしまうと、余計答えづらい設問になってしまうだろうなという意味

では、この残された質問に関して、これ以上の聞き方はないだろうということで、これを残すという

ことはありだと思います。

【林大樹委員長】 林瑞哉委員、お願いします。

【林瑞哉委員】 井上委員の意見を聞いて、そっかそれぞれの立場、状況で捉え方が異なるのかな

と逆に思いました。私自身としては、一般的にはこういうふうな設問になるのかなと感じました。

【林大樹委員長】 ありがとうございました。井上委員から、非常に根本的な問いのような貴重な

御意見をいただきましたので、出席されている全ての委員の御意見も伺いました。多数は、この現状

の形で、もともとたくさんのアンケート項目がありましたが、このように絞った形で残っている調査

結果については、この計画策定に必要な資料なのではないかという意見が多かったと思います。

ただ、高橋委員からも、井上委員が感じられたような疑念というのは共有するところがあるという

意見も出されました。なおかつ、こういう調査結果の扱いについて慎重であるべき、ここに出す、

計画に載せる意味を十分説明するべきだろうと。その上で出してきたということも言われました。そ

れもそのとおりだと思いますので、事務局としてもこうした資料の扱い方、それらについて慎重に

というか、よく考えて扱うということを今後の教訓にしていきたいと思いますと思うんですね。そのよう

に事務局のほうで今後進めていただけるのでというのであれば、何とか井上委員にも御了解をいた

いて、今残った形での意識調査等のデータは、このまま残して計画の中に盛り込んでいきたいという

ふうに思うのですが、いかがでしょう。

いのうえい いん かんが  
【井上委員】 考 えてきます。

はやしひろきいんちよう  
【林大樹委員長】 それでは、この場ではちょっと持ち越さざるを得ないのかなと。多数意見として

かたち おも いのうえい いん かんが  
はこの形 でということになると思うのですが、井上委員がもうちょっと 考 えられるということでは

のこ かい いのうえい いん かんが いちど ね うえ も こ  
ので、残りあと1回しかないんですが、井上委員にお 考 えをもう一度練っていただいた上で、持ち越

おも  
したいと思います。よろしいですか。

では、ここについては、そのように持ち越すことにいたしまして、次に、「国立市の現 状から見え

かだい ふ かえ おこな じむきょく へんこうかしょ せつめい  
る課題」について、8ページから13ページまでの振り返りを行います。事務局より、変更箇所の説明

ねが  
をお願いします。

じむきょく ふ かえ しりよう くになちし げんじよう み かだい  
【事務局】 それでは、振り返り資料の8ページから13ページ「国立市の現 状から見える課題」に

ぜんかい いいんかい いいん みなさま いけん さんこう ないよう へんこう おこな  
ついてでございます。前回の委員会で委員の皆様よりいただきました意見を参考に内容の変更を行

へんこうかしょ せつめい  
いました。変更箇所を説明させていただきます。

ふくしじんざい かくほ いくせい けんりようご すいしん ぜんかい いいんかい  
「(1)福祉人材の確保・育成」から「(13)権利擁護の推進」につきましては、前回の委員会におい

いいん みなさま いけん う ふとし かせん ないよう へんこう  
て、委員の皆様よりいただいた意見を受け、太字・下線の内容に変更してございます。

つづ い し けっていしえん ふきゅうけいはつ ぜんかい いいんかい しりよう  
続いて、「(14)意思決定支援の普及啓発」についてでございます。前回の委員会までの資料では、

さまざま い し けっていしえんたいせい せいび かだい しめ くに にんちしょう かた  
「様々な意思決定支援体制の整備」という課題でお示しをしておりました。国では、認知症の方やし

かた たい い し けっていしえん さだ ふきゅうけいはつ はか  
ょうがいのある方に対する意思決定支援ガイドラインを定めており、普及啓発を図っております。

くになちし げんじよう かくふしょ い し けっていしえん じょうきよう かんが たいせい せいび まえ  
国立市におきましても、現 状の各部署における意思決定支援の状 況 を 考 えると、体制の整備の前

い し けっていしえん ふきゅうけいはつ かくふしょ じぎょうしゃ しえんしゃとう おこな  
に、ガイドラインをはじめとした意思決定支援の普及啓発を、各部署や事業者、支援者等に行 ってい

くことが必要であると考 えました。そのため、意思決定支援の普及啓発ということで、太字・下線の

とおり課題の内容も改 めて変更しております。

変更箇所の説明は以上でございます。御意見をいただけますと 幸 いでございます。よろしくお願い  
いたします。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。「国立市の現 状から見える課題」が、今御説明のあつ  
たとおり修 正されておりますが、委員の皆様、御意見はございますでしょうか。井上委員は、意見が  
ございますか。

【井上委員】 考 え中 です。次回言います。

【林大樹委員長】 ここは、前回、多くの委員からいろいろな意見が出されて、それを事務局のほう  
で踏まえて修 正されてここにございますが、井上委員が保留ということになりましたので、ほかの  
委員の皆様、この修 正された現在の案について御意見はございますでしょうか。

特に意見がないようなので、井上委員以外は、現在の案でよろしいということでしょうか。

それでは、これについても、1つ前と同じように、あと1回ともう後がないんですが、井上委員の  
考 えがまとまるのをもうちょっと待ちたいと思います。

さて、それでは続きまして、15ページから18ページ、「計画の基本理念」、「計画の基本目 標」、「施策  
の体系」について振り返りを行 います。前回の委員会で事務局より御説明がありました。委員の皆様  
の意見を聞く時間がなかったので、改 めて委員の皆様より御意見を頂 戴したいと思いますが、いか  
がでしょう。井上委員も、15ページから18ページのところで意見がありましたらお願いします。

いのうえい いん      じ かい い      かんが  
【井上委員】      次回言います。考 えてきます。

はやしひろき いん ちよう      い い ん      げんざい      あん  
【林大樹委員長】      ほかの委員はいかがでしょうか。この現在の案でよろしいですか。

いのうえい いん      い け ん ま  
井上委員の意見待ちということにさせていただきます。

しゆくだい      のこ      いのうえい いん      しょ      ご い け ん      じ かい ちようだい  
ちょっと宿 題を残しましたが、井上委員から、この3か所についての御意見を次回 頂 戴してとい  
うことになります。

つづ      ふんかんきゆうけい      い      おち  
それでは、続きもあるのですが、きりのいいところなので、5分間休 憩を入れたと思います。

きゆうけい  
(休 憩)

はやしひろき いん ちよう      さいかい  
【林大樹委員長】      それでは、再開いたします。

つづ      ほんじつ      きようぎし こう      かくにん      しりよう      はじ      き ほんもくひよう  
続いて、本日の協議事項について確認をしていきます。資料2になりますが、初めに基本目 標 1 の

ないよう      かくにん      おこな      じむきょく      せつめい      ねが  
内容について確認を行 っています。事務局、説明をお願いします。

じむきょく      てもと      しりよう      しりよう      か      ごじゅんび      おち  
【事務局】      お手元に資料2と資料3と書いてあるものを御準備いただければと思います。

いいん      みなさま      だいへんきげん      みじか      なか      き ほんもくひよう      ないよう      かん      じ ぜ ん い け ん      き ほんもくひよう  
委員の皆様には、大変期限が短 い中、基本目 標 1・2の内容に関する事前意見でしたり、基本目 標

し さく      ご い け ん      ごていしゅつ      まこと      じ ぜ ん  
3の施策についての御意見やアイデアを御提出いただきまして、誠 にありがとうございました。事前

ごていしゅつ      い け ん      さんこう      じむきょく      ないよう      しゅうせい      じっし  
に御提出いただきました意見を参考にさせていただきながら、事務局で内容の修 正 を実施いたしまし

ぜんかい      わた      しりよう      へんこうてん      ちゅうしん      せつめい      おこな  
た。前回お渡しした資料からの変更点を中心に説明を行 います。

し さく      ほうしん      ふく しじんざい      かく ほ      いくせい      せつめい      きようぎしりよう  
「施策の方針1      福祉人材の確保・育成」について説明をいたします。協議資料の2から3ページ、

いいん い け ん      ころん  
委員意見の1 ページを御覧ください。

げんじよう      か だい      へんこう      とりくみ      ほうこうせい      いいん  
「現 状と課題」につきましては、変更はございません。「取組の方向性」につきましては、委員よ

じぜん いけん う ふとじ かせん しゅうせい  
り事前にいただいた意見を受けまして、太字・下線のとおり修正をさせていただきます。

じゅうてんき と く しさく なんばー ないよう みんかん れんけい  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、No.1－1－2の内容で、民間との連携や、

こうれいしゃかんけい ほいくかんけい めいき かいごしょく げんてい ひょうげん しゅうせい  
高齢者関係としょうがい、保育関係を明記することで、介護職に限定されない表現に修正させてい  
ただきました。

つづ しさく ほうしん ちいきふくしかつどう かつせいか すいしん せつめい きょうぎしりょう  
続いて、「施策の方針2 地域福祉活動の活性化の推進」について説明いたします。協議資料の4か  
ら5ページ、委員意見の1から2ページを御覧ください。

げんじょう かだい とりくみ ほうこうせい へんこう  
「現状と課題」、「取組の方向性」につきましては変更はありません。

じゅうてんき と く しさく なんばー ないよう くにたちししゃかいふくしきょう  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、No.1－2－1の内容で、「国立市社会福祉協  
議会のコミュニティソーシャルワーカーと」に表現を変更させていただきました。また、「くにたち

じぎょう くにたちししゃかいふくしきょうざかい しゃきぎょう じぎょう ばあい じぎょうめい かつこ か  
まごころサロン事業（国立市社会福祉協議会）」と、社協の事業の場合は、事業名プラス括弧書きの

ひょうげん へんこう つづ なんばー ないよう せいかつじょうほう かくだんたい  
表現に変更しております。続きまして、No.1－2－2の内容は、生活情報だけではなく、各団体  
の活動情報の発信も行う旨、明記しております。

つづ しさく ほうしん ちいきふくし にな て はくつ しえん ぜんかい しりょう げんじょうへんこうかしょ  
続いて、「施策の方針3 地域福祉の担い手の発掘・支援」ですが、前回の資料より、現状変更箇所  
はございません。

つづ しさく ほうしん ふくし じんけん かん きょういく かつどう すいしん せつめい きょうぎ  
続いて、「施策の方針4 福祉や人権に関する教育と活動の推進」について説明いたします。協議  
資料の8から9ページ、委員意見の2から3ページを御覧ください。

げんじょう かだい へんこう とりくみ ほうこうせい  
「現状と課題」につきましては変更はございません。「取組の方向性」につきましては、①におい  
て、福祉や人権意識に加え、ソーシャルインクルージョンの理念も醸成する旨、追記しています。

じゅうてんてき と く しさく なんばー ないよう しょうちゅうがっこう  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、No.1－3－2の内容で、もともと「小中学校

れんけい ひょうげん こうこう ふく ひょうげん へんこう  
と連携した」という表現でございましたが、高校も含めた表現に変更をしております。

きほんもくひょう へんこうか しょ いじょう  
基本目標1の変更箇所は以上です。

はやしひろきいんちよう きほんもくひょう いいん いけん さんこう しゅうせい じむきょくあん  
【林大樹委員長】 ありがとうございました。基本目標1の委員意見を参考に修正した事務局案に

せつめい かしょ いいん みなさま こいけん  
ついて説明をいただきました。この箇所につきまして、委員の皆様より御意見はありますでしょうか。

いのうえいいん  
井上委員、ありますか。

いのうえいいん かんが いけん じかい い  
【井上委員】 考えています。意見があります。次回言います。

はやしひろきいんちよう やまぐちいいん  
【林大樹委員長】 山口委員、どうぞ。

やまぐちいいん しさく ほうしん とりくみ ほうこうせい りねん じょうせい  
【山口委員】 施策の方針4の取組の方向性で、ソーシャル・インクルージョンの理念を情勢するた

めにと、これが重要だとすごく思っていて、ただ、ここに出ているのは学校教育に

げんてい う と  
限定されているように受け取られてしまうんですけれども、そうではなくて、ソーシャル・インクル

ージョンはそこだけじゃなくて、やっぱり市民全体でこの機運を醸成していくということで、今日い

ただいたんですけれども、星の王子様みたいな、これってまさに市民啓発のことかなと思うので、こ

れは実験みたいなのところなんですけれども、それを含めてソーシャル・インクルージョン。学校での教育

がっこう いちばんむずか おも とりくみ  
は学校でやれますけれども、そうじゃないところが一番難しいのかなと思うので、ぜひそれを取組の

ほうこうせい い  
方向性にもちょっと入れていただきたい。

がっこうきょういく よ と いっぱんしみん かた  
学校教育においてだけにしかこれは読み取れないんですけれども、そうじゃない一般市民の方に

しょうせい ひつよう しさく なか い たと なんばー  
も醸成するようなことが必要だということと、施策の中にも、それを入れて、例えばNo.1－4－1

の施策面のところにそれも一緒に入れてしまうことが、ちょっと私自身がちゃんと判断がうまくついてないんだけど、感覚的にはここに一緒に入ってもいいのかなとすごく思うんです。人権のこととすごく密接に関わるから。そんなことを少し強調していただければと思います。

私の意見は以上です。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

事務局のほうで、今、山口委員から言われた学校教育だけでなく、市民というか、そのあたりの人権、福祉の教育ということについてはお考えがございしますか。

【事務局】 今、山口委員からおっしゃられた内容につきまして、少し文言等を考えて、また次回提案させていただきたいと思っております。

【林大樹委員長】 ほかにございしますか。それでは、この箇所については、修正が次回あるということになりました。

それでは先に進みたいと思いますが、11ページからの基本目標2に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

【事務局】 それでは、「施策の方針1 当事者グループ等による活動と多様な居場所づくり」について説明いたします。協議資料の11から12ページ、委員意見の4ページを御覧ください。

「現状と課題」につきましては変更がございしません。「取組の方向性」につきましては、①は「情報発信」の文言を追加しております。②は「病気やしょうがい、依存や嗜好、マイノリティグループ等」という表現を、「生きにくさを感じている方」に変更しています。併せて、「社会的活動の場の創出」



ひょうげん ついき  
という表現を追記しております。

じゅうてんき と く しさく なんばー ないよう とりくみ ほうこうせい へんこう  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、No2-1-1の内容で、取組の方向性の変更

あわ しょうほうはっしん おこな ひょうげん ついか  
に併せ、「情報発信も行う」という表現を追加しています。

つづ しさく ほうしん ちいき けんこう かいごよほう すいしん せつめい きょうぎ  
続いて、「施策の方針2 地域における健康づくり・介護予防の推進」について説明いたします。協議

しりょう いいんいけん ころん  
資料の13から14ページ、委員意見の4から5ページを御覧ください。

げんじょう かだい へんこう とりくみ ほうこうせい へんこうまえ  
「現状と課題」につきましては変更がございません。「取組の方向性」につきましては、変更前の

ひょうげん けんこうそうしん けんこうかんり だいしょう げんていてき と ひょうげん  
表現では、健康増進と健康管理について、対象が限定的と取られる表現であったため、13ページ

ふとじ ひょうげん へんこう  
の太字の表現に変更しております。

じゅうてんき と く しさく げんじょうへんこう  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、現状変更はしてありません。

つづ しさく ほうしん ちいき みまも にちじょうせいかつしえん すいしん ごせつめい きょうぎしりょう  
続いて、「施策の方針3 地域での見守り・日常生活支援の推進」について御説明します。協議資料

いいんいけん ころん  
の15から16ページ、委員意見の5ページを御覧ください。

げんじょう かだい め まる じぎょう こうれいしゃみまも ついき  
「現状と課題」につきましては、3つ目の丸の事業に、「高齢者見守りネットワーク」を追記して

とりくみ ほうこうせい へんこう  
おります。「取組の方向性」につきましては変更がございません。

じゅうてんき と く しさく なんばー ないよう ぎょうめ じぎょうしゃ  
「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、No.2-3-2の内容の1行目に、「事業者」

ついき  
を追記しております。

つづ しさく ほうしん ちいきじゅうみん ぎょうせいたう れんけい きやうどう すいしん ぜんかいしりょう へんこう  
続いて、「施策の方針4 地域住民と行政等の連携や協働の推進」ですが、前回資料から変更は

とく  
特にございません。

きほんもくひょう へんこうかしょ いじょう ねが  
基本目標2の変更箇所は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【林大樹委員長】 <sup>はやしひろきいいんちょう</sup> ありがとうございます。こちらの<sup>ないよう</sup>内容について、<sup>いいん みなさま ごいけん</sup>委員の皆様より御意見はございますでしょうか。

【山口委員】 <sup>やまぐちいいん</sup> 変更<sup>へんこう</sup>ということではないんですけれども、基本<sup>きほん</sup>目標<sup>もくひょう</sup>2の施策<sup>しやく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>1の当事者<sup>とうじしゃ</sup>グループ等<sup>とう</sup>による活動<sup>かつどう</sup>云々<sup>いんぬん</sup>というところで、<sup>じっさい</sup>実際に<sup>しゃかいふくしきょうぎかい</sup>社会福祉協議会<sup>とうじしゃ</sup>で当事者<sup>かか</sup>グループ<sup>けっこう</sup>の関わりを結構<sup>おも</sup>やっていますので、ちょっと<sup>じつれい</sup>実例<sup>かんたん</sup>を簡単に、<sup>かねこいいん</sup>金子委員<sup>しょうかい</sup>から紹介<sup>りかい</sup>していただくと理解<sup>すす</sup>が進むかなと思<sup>おも</sup>います。

【金子委員】 <sup>かねこいいん</sup> 今、<sup>いま</sup>山口委員<sup>やまぐちいいん</sup>からお話<sup>はなし</sup>をいただいたとおりなんです、もともと、いわゆる<sup>よ</sup>ひきこもり<sup>い</sup>と呼ばれている<sup>かか</sup>生きづらさ<sup>かた</sup>を抱えている<sup>とうじしゃ</sup>方の<sup>べんきょうかい</sup>当事者<sup>ひら</sup>の勉強会<sup>とうじしゃ</sup>なんかを開いたところから、<sup>かた</sup>当事者<sup>かか</sup>の方<sup>いま</sup>との関わり<sup>かた</sup>のグループ、今、<sup>かか</sup>からふらっというグループ<sup>い</sup>なんですけれども、<sup>かそく</sup>そのようなグループ<sup>なや</sup>ができていうことと、結局<sup>けっきょく</sup>、<sup>い</sup>そういう<sup>かか</sup>生きづらさ<sup>かそく</sup>を抱えている<sup>なや</sup>家族<sup>なや</sup>の悩みもやっぱりあるという<sup>かそくかい</sup>ことで、<sup>どうじ</sup>家族会<sup>いまへいこう</sup>も同時に<sup>じっし</sup>今<sup>じっし</sup>並行<sup>じっし</sup>して実施<sup>じっし</sup>させていただいているところです。

<sup>かつどう</sup>活動<sup>はんい</sup>の範囲<sup>たんじかんこう</sup>としては、<sup>かたち</sup>短時間雇用<sup>と</sup>みたいな<sup>たと</sup>形<sup>しゃかいふくしきょうぎかい</sup>を取<sup>じぎょう</sup>って、<sup>てつだ</sup>例えば<sup>のうえんじぎょう</sup>社会福祉協議会<sup>さんか</sup>の事業<sup>しゃかいたいけん</sup>のお手伝い<sup>つ</sup>をしていただくとか、<sup>しゅうろう</sup>あと<sup>まえ</sup>農園事業<sup>じょうだい</sup>なんかにも参加<sup>しゅうろう</sup>していただきながら、<sup>しゅうろう</sup>いろいろな<sup>まえ</sup>社会<sup>じょうだい</sup>体験<sup>しゅうろう</sup>を積<sup>しゅうろう</sup>んでいっていただいて、<sup>しゅうろう</sup>就<sup>まえ</sup>労<sup>じょうだい</sup>の前<sup>しゅうろう</sup>の状態<sup>しゅうろう</sup>というんでしょうか、<sup>しゅうろう</sup>そのような<sup>しゅうろう</sup>ところを<sup>しゅうろう</sup>やっているところ<sup>しゅうろう</sup>でござ<sup>しゅうろう</sup>います。その<sup>しゅうろう</sup>ような<sup>しゅうろう</sup>形<sup>しゅうろう</sup>で、<sup>しゅうろう</sup>市内<sup>しゅうろう</sup>の方も<sup>しゅうろう</sup>多い<sup>しゅうろう</sup>んですけれども、<sup>しゅうろう</sup>市外<sup>しゅうろう</sup>の方も<sup>しゅうろう</sup>御参加<sup>しゅうろう</sup>いただきながら、<sup>しゅうろう</sup>少<sup>しゅうろう</sup>しずつ<sup>しゅうろう</sup>輪<sup>しゅうろう</sup>が<sup>しゅうろう</sup>広が<sup>しゅうろう</sup>っているという<sup>しゅうろう</sup>ところで<sup>しゅうろう</sup>進め<sup>しゅうろう</sup>させていただ<sup>しゅうろう</sup>いているところ<sup>しゅうろう</sup>でござ<sup>しゅうろう</sup>います。

【林大樹委員長】 <sup>はやしひろきいいんちょう</sup> ありがとうございます。ほかに<sup>いのうえいいん</sup>ござ<sup>いのうえいいん</sup>いますでしょうか。井上委員<sup>いのうえいいん</sup>からあります。

【井上委員】 <sup>いのうえいいん</sup> 意見<sup>いけん</sup>があります。意見<sup>いけん</sup>が<sup>い</sup>言<sup>い</sup>えないです。次回<sup>しかいい</sup>言<sup>い</sup>います。

はやしひろきいんちょう  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。

ほかにございますか。ないようでしたら、井上委員の意見待ちもありますが、山口委員、金子委員  
から御説明があった箇所ですとか、内容の修正も含めて事務局のほうで検討していただければと思  
います。

それでは、基本目標1と2については宿題が残っていますが、今日はここまでということにしま  
して、ここはささっときてしまったのですが、基本目標1・2の内容について、何か御意見がござい  
ますでしょうか。今日のところはよろしいですか。

ありがとうございます。それでは、次回の冒頭にこの箇所は振り返りを行って、最終的な内容の  
決定を行いますので、よろしくお願いします。

次に、基本目標3の内容について確認をいたします。前回同様、事務局より基本目標3の内容に  
ついて一通り御説明いただいた後、委員の皆様より意見をいただくという方法で進めてまいりたいと  
思います。

それでは、事務局、説明をお願いします。

【事務局】 「基本目標3 安全で安心して暮らせる環境づくり」の施策の方針1から施策の方針  
6の内容について説明をさせていただきます。協議資料のほかに、資料4の「基本目標3 重点的  
に取り組んでいく施策 委員意見」も併せて御準備いただけますと幸いです。

事前に委員の皆様より、「重点的に取り組んでいく施策」についての御意見をいただきました。

事務局において、いただいた内容を参考にさせていただきながら考えました施策を掲載しておりま

す。事前<sup>じぜん</sup>にいただいた意見<sup>いけん</sup>は、このように内容<sup>ないよう</sup>に入れ込めるのではないかでしたり、こうしたほうが  
わかりやすいなど、どんな御意見<sup>ごいけん</sup>でも結構<sup>けっこう</sup>でございますので、後ほどいただけますと幸<sup>さいわ</sup>いでございます  
す。

初<sup>はじ</sup>めに、「施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>1 総合<sup>そうごう</sup>的な相談<sup>そうだん</sup>支援<sup>しえん</sup>と情報<sup>じょうほう</sup>提供<sup>ていきょう</sup>」について御説明<sup>ごせつめい</sup>をさせていただきます。

協議<sup>きょうぎ</sup>資料<sup>しりょう</sup>の21から23ページ、委員<sup>いいん</sup>意見<sup>いけん</sup>の1ページを御覧<sup>ごらん</sup>ください。

「現<sup>げん</sup>状<sup>じょう</sup>と課題<sup>かだい</sup>」については記載<sup>きさい</sup>のとおりであり、施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>1では4つの「取組<sup>とりくみ</sup>の方向性<sup>ほうこうせい</sup>」を定め  
ております。「重点<sup>じゅうてん</sup>的に取組<sup>とく</sup>んでいく施策<sup>しさく</sup>」については、「相談<sup>そうだん</sup>窓口<sup>まどぐち</sup>の連携<sup>れんけい</sup>強化<sup>きょうか</sup>」、「女性<sup>じょせい</sup>相談<sup>そうだん</sup>・支援<sup>しえん</sup>  
の実施<sup>じっし</sup>」、「住<sup>じゅう</sup>宅<sup>たく</sup>確保<sup>たかく</sup>要配慮<sup>ほようはいりょ</sup>者<sup>しや</sup>に対する支援<sup>たい</sup>の推進<sup>しえん</sup>」、「情報<sup>じょうほう</sup>提供<sup>ていきょう</sup>の充実<sup>じゅうじつ</sup>」の4つを掲げ、重点<sup>かか</sup>的に  
とく  
取組<sup>とく</sup>んでいくとしています。

つづ  
続きまして、「施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>2 生活<sup>せいかつ</sup>困窮<sup>こんきゅう</sup>者<sup>しや</sup>への支援<sup>しえん</sup>」について説明<sup>せつめい</sup>させていただきます。協議<sup>きょうぎ</sup>資料<sup>しりょう</sup>  
の25ページから26ページ、委員<sup>いいん</sup>意見<sup>いけん</sup>の1から2ページを御覧<sup>ごらん</sup>ください。

「現<sup>げん</sup>状<sup>じょう</sup>と課題<sup>かだい</sup>」については記載<sup>きさい</sup>のとおりであり、施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>2では、2つの「取組<sup>とりくみ</sup>の方向性<sup>ほうこうせい</sup>」を定  
めております。「重点<sup>じゅうてん</sup>的に取組<sup>とく</sup>んでいく施策<sup>しさく</sup>」につきましては、「生活<sup>せいかつ</sup>困窮<sup>こんきゅう</sup>者<sup>しや</sup>の自立<sup>じりつ</sup>に向けた支援<sup>む</sup>  
の充実<sup>しえん</sup>」と、「支援<sup>じゅうじつ</sup>が必要な子育て世帯<sup>しえん</sup>や子どもへの支援<sup>ひつよう</sup>の充実<sup>こそだ</sup>」の2つを掲げ、重点<sup>せたい</sup>的に取組  
んでいくとしております。

つづ  
続いて、「施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>3 地域<sup>ちいき</sup>の防災<sup>ぼうさい</sup>・防犯<sup>ぼうはん</sup>活動<sup>かつどう</sup>の推進<sup>すいしん</sup>」について説明<sup>せつめい</sup>させていただきます。協議<sup>きょうぎ</sup>資料<sup>しりょう</sup>  
の27ページから29ページ、委員<sup>いいん</sup>意見<sup>いけん</sup>の2から3ページを御覧<sup>ごらん</sup>ください。

「現<sup>げん</sup>状<sup>じょう</sup>と課題<sup>かだい</sup>」につきましては記載<sup>きさい</sup>のとおりであり、施策<sup>しさく</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>3では、「取組<sup>とりくみ</sup>の方向性<sup>ほうこうせい</sup>」を3つ

さだ じゅうてんてき と く しさく ふくしひなんじょうんえいたいせい じゅうじつ ひなん  
定めています。「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、「福祉避難所運営体制の充実」、「避難

こうどうようしえんしゃしえんだいせい じゅうじつ しえん そくしん ちいき れんけい ほうはんたいせい じゅうじつ  
行動要支援者支援体制の充実と支援の促進」、「地域コミュニティと連携した防犯体制の充実」の3

かか じゅうてんてき と く  
つを掲げ、重点的に取り組んでいくとしています。

つつ しさく ほうしん せつめい きょうぎしりよう  
続いて、「施策の方針4 バリアフリーのまちづくり」について説明をいたします。協議資料の30

ページから32ページ、委員意見の3から4ページを御覧ください。

げんじょう かだい きさい しさく ほうしん とりくみ ほうこうせい さだ  
「現状と課題」については記載のとおりであり、施策の方針4では3つの「取組の方向性」を定め

じゅうてんてき と く しさく こうきようしせつとう か  
ております。「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、「公共施設等のバリアフリー化の

すいしん じょうほう すいしん ところ すいしん じゅうてんてき と く  
推進」、「情報のバリアフリーの推進」、「心のバリアフリーの推進」の3つの重点的に取り組んでい

しさく かか じゅうてんてき と く  
く施策を掲げまして、重点的に取り組んでいくとしております。

つつ しさく ほうしん けんりようご せいねんこうけん すいしん せつめい きょうぎしりよう  
続いて、「施策の方針5 権利擁護・成年後見の推進」について説明いたします。協議資料の33か

いいんいけん ごらん  
ら34ページ、委員意見の4ページを御覧ください。

げんじょう かだい きさい しさく ほうしん とりくみ ほうこうせい  
「現状と課題」につきましては記載のとおりであり、施策の方針5では3つの「取組の方向性」を

さだ じゅうてんてき と く しさく けんりようご せいねんこうけんせいで ふきゅうけいはつ  
定めております。「重点的に取り組んでいく施策」については、「権利擁護・成年後見制度の普及啓発」

りようそくしん けんりようご ちいきれんけい けんとう かか じゅうてんてき と く  
と利用促進」、「権利擁護の地域連携ネットワークづくりの検討」の2つを掲げ、重点的に取り組んで

いくとしています。

さいご しさく ほうしん い し けつていしえん ふきゅうけいはつ せつめい きょうぎしりよう  
最後に、「施策の方針6 意思決定支援の普及啓発」について説明させていただきます。協議資料の

いいんいけん ごらん  
35ページから36ページ、委員意見の4から5ページを御覧ください。

げんじょう かだい きさい しさく ほうしん とりくみ ほうこうせい  
「現状と課題」につきましては記載のとおりでございます。施策の方針6では2つの「取組の方向性」

を定めております。「重点的に取り組んでいく施策」につきましては、「意思決定支援の普及啓発の

推進」、「意思決定支援の仕組みづくり」の2つを掲げ、重点的に取り組んでいくとしております。

事務局からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。基本目標3について説明をいただきました。委員の皆様

より御意見等はございますでしょうか。

【山路委員】 2点、申し上げたいと思います。このところは、まだ今まであまり私も意見を申し

上げていなかったし、議論もされていないところなんです、資料2の21ページ、ページ数がついて

ないですが、国立市総合オンブズマン制度というのがございます。2017年からできたそうですが、

これはかねがね私は非常に分かりにくいというか、本当に総合オンブズマンということで活用され

ているのかどうかというのが、今から言ってもしょうがないことですが、この中に具体的に盛り込ん

でもらいたいのが、福祉サービスについての苦情対応体制なんです。

これは多くの市が、オンブズマンということではなくて、福祉サービスについての苦情相談窓口と

いう形で具体的に設けています。そういうことでないと、なかなか福祉サービスについての様々なや

っぱり思いとか問題点とか、具体的にこういうサービスを受けているけれども、こういう苦情がある

けれどもということで、相談しづらいというか、相談する場がオンブズマンということではなかなか

できにくいと思うんですね。

だけれども、オンブズマンの中に当然苦情対応の専用窓口の内容は入れるべきなので、これを分か

りやすい形で、もっと周知徹底するような形でオンブズマンというのをもうちょっとPRし直せな

いかということでの、手直しをお願いできないかと。今さら申し訳ないんだけど、ややこしい話

ですみません。それを1点感じました。

それから、一番最後のところの意思決定支援の問題です。これは非常に重要な話だし、事務局は

非常に上手くまとめていると思いますけれども、この中で、一番最後の36ページのところで、意思

決定支援の仕組みづくりと書いてあるんです。これは確かに、仕組みづくりができればそれにこした

ことはないんだけど、具体的にどうやっていくのか。これは全てこの福祉計画に通じる話なんで

すが、方向性は出ても、具体的にどうやって進めていくのかということについては、ここに書かれて

るように、全てに関する会議体や関係機関を交えた意見交換をするということを行い、意思決定の

仕組みづくりを推進していくと書いてあるんですが、会議をするだけで仕組みづくりにはならないの

で、例えばの話ですが、仕組みづくりとするならば、意思決定支援センターという大げさな名前じゃ

なくても、意思決定相談窓口のような担当者をやっぱり市の中に置くとか、社協とも連携してそうい

う窓口をつくるということをしないと、なかなか仕組みづくりということにはつながっていかないの

ではないかと感じました。ただ、会議をやるとかということだけではなくて、その仕組みづくりと書

く以上は、もうちょっとそこら辺を突っ込んで書けないものだろうかと感じました。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。ほかにございますか。

今、山路委員から非常に重要な点の御指摘があったと思います。井上委員、今のところは御意見が  
ありますか。

【井上委員】 意見が言えないです。次回言います。

はやしひろきいいんちょう  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。

いのつめいいん  
猪爪委員、どうぞ。

いのつめいいん げんじょう かだい ほうこうせい つ こ ぶんしょう  
【猪爪委員】 こういう現状と課題とか、方向性とか、突っ込みようがなく、きちんと文章としてまとまっちゃっているじゃないですか。先ほどおっしゃってくださったことと同じように、全てそういうような仕組みづくりを検討しますで終わってしまう。こちらの33ページにおいても、ネットワークづくりを検討しますで終わってしまう。そうすると、本当にいつもと何も変わらないんだと感じてしまうんですね。だから、検討を進めていきますとか、何となくそういうところを、できればこういうシステムづくりをもう少し具体的な形にできたらいいのかなといつも思うんです。

はやしひろきいいんちょう かんそう かたち  
【林大樹委員長】 感想のような形でですね。

やまぐちいいん いま いのつめいいん い かんれん やまじいいん い  
【山口委員】 今、猪爪委員が言われたことと関連するし、山路委員が言われたことともですけれども、実際にどうするのかというところが見えにくくて、例えば23ページの一番最初のところですが、総合的な相談支援と情報提供なんですから、ここで相談とその後の支援というのがあるんじゃないかなと思うんですね。相談窓口はふくふく窓口ができたりとかいろいろある。その後、具体的な支援をどうしていくのかというのがやっぱり見えにくいし、多分現場で、これで困られている部分がすごく多いんじゃないかと。

か じゅうそうてき し く わたし ことば はんのう  
どこかに書いてあった重層的な仕組みづくりとか、私はプラットフォームという言葉に反応したんですけど、それがその支援までつなげるという意味合いなのか。要するに、1つの部署では対応できない様々な個別のケースでいろんな問題というか、解決しなきゃいけないことがある。今、Aの



もんだい かいけつ うら びー もんだい じつ ぶしよてき こうれいしゃ  
問題を解決、その裏にはBの問題が実はくっついている。これは、部署的には、もしかしたら高齢者

ちが ぶしよ きょういくかんけい い がっこう こ かていぶ  
ではなくて違う部署かもしれないし、教育関係で言えば、学校かもしれないけれども、子ども家庭部

うつ じどうそうだんじょ なが いりようてき  
に移っていくかもしれないし、児童相談所まで流していくかもしれないし、もしかしたら医療的など

かか ふくし まどぐち かか なか ぶぶん  
ころまで関わってくるし、福祉の窓口と関わってくるかもしれない。1つのケースの中にそういう部分

おも  
がすごくあるかなと思うんですね。

じっさい そうだん たいせい さき しえん むす  
だから、そのところをどう実際に、相談の体制はできても、その先の支援にどう結びつけていく

しょうじき むすか  
のかというところがほしいなというのが正直なところではあるんですね。これは難しい、これがで

すす おも げんじつ かくげんば くろう おも  
きればかなり進むだろうと思うんですけども、現実には各現場で苦勞されていると思うんですけれ

か い  
ども、どこにどういうふうに書けばいいのというのはちょっとうまく言えていないんですけども、

ぜんぶかか おも  
全部関わることだと思っています。

いじょう かんそう しえん すこ あつ だ  
以上、感想というか、支援とかプラットフォームみたいものをもう少し厚くどこかで出していただ

おも  
ければと思います。

はやしひろきいいんちょう じむきょく  
【林大樹委員長】 ありがとうございます。どうぞ、事務局。

じむきょく いま にん いいん かた ごいけん やまじいいん  
【事務局】 今、3人の委員の方に御意見いただきまして、ありがとうございます。まず、山路委員

はな かん くになちし じょうれいじょう くじょうしより  
からお話しいただきましたオンブズマンに関してなんですけれども、国立市も、条例上は苦情処理

まえ たんとう う つ かい きほんてき  
のものはございます。ただ、前の担当からも受け継いできているんですけども、1回も基本的には

くじょう で はあい だいたいたんとうしゃ きほんてき かいけつ  
そこにはならない。なぜかという、苦情が出た場合に、大体担当者とかで基本的には解決していく

おお じしん べんごし かた だいさんしゃ  
ことが多いです。さらに、オンブズマンができてからは、オンブズマン自身が、弁護士の方が第三者

としての立場できちんと見てくださるところから、苦情処理の委員会とかよりも、より公平性

を担保されたような形でやっぱりできているというところから、オンブズマンを結構使われている

のかなと思っています。さらに、国立市の場合、子どものオンブズマンとかもございまして、そう

いった点から、そういうところが使われているかなというところがあります。なので、記載方法も、

その辺はちょっと注意しながら書き方を、ちょうど今度9月議会で、オンブズマンは年に1回ちゃん

と報告書を出していて、どういう活動をしたのかとか、どういった処理をしたのかとかといった報告書

も今もらっておりますので、そういったところでも紹介していければなと思っております。

あと、山口委員と猪爪委員からお話しいただきました環境づくりとかも推進していく必要がある、

具体性の問題ですね。私も、この資料の中で、最近、こちら辺を事務局内で話し合った際に、これ

だと正直具体例、何をやるのかがちょっと難しくなりますので、委員長ともお話しさせていただき

ながら、いっぱい羅列してしまうと何をやっていいか分からなくなってしまいますので、ちょっと絞

りながら、どういった事業が推進していくのに効果的かというところもつくってみながら、次回お示

しできればいいかなと。結局、今お話しいただいたように何をやるのかと言われたときに、具体例も

何もないとちょっと難しいかもしれないので、取組の例ですとか、例えば今までやっていることがこ

れに該当しているんじゃないかとかいうことぐらいは入れていければいいのかなというのを考えて

おりますので、そういったところも踏まえて、1回委員長ともお話しさせていただきながらお示しで

きればなということも今考えておりますので、そこだけ事務局に宿題としてやらせていただければ

と思います。

あと、先ほどの相談支援体制の部分ですけれども、確かにこの記載ですと相談の入り口の話しかし

ておりませんが、例えばふくふく窓口であれば、総合相談機能ですとか、生活困窮者自立支援の相談

機関がありますので、その中で各部署と連携しながら支援調整会議を行うことができる存在となっ

ております。なので、イメージとしましては、ふくふく窓口の人がいて、そこから、対象とする方、

支援が必要な方の属性に応じて、様々な部署を呼びながら情報共有してどんな支援をしていくか、

ケース会議みたいな形で行っていくことができますので、そういった意味では、市役所の中

でのプラットフォームとしては1つできていると。あとは、社会福祉協議会さんの中にいらっしゃる

C S Wですとか、そういったところとも連携したりですとか、最近であれば、コロナの関係で貸付

ですとか給付が必要だとか、あとは食べ物とかの相談ですとか、そういったものも含めて社協とも

一緒に連携させていただいているので、そういったこともやっているの、確かにこの中にその辺も

少し、こういうこともやっていますよというのが入れられればなと思っておりますので、その辺もち

よっと記載方法を考えていきたいと思います。

【林大樹委員長】 ありがとうございます。ほかにございますか。

貴重な意見を言っただけだと思っています。そして、事務局からも、もう少し具体性を持たせ

たいということでしたので、ぜひその方法で進められたらいいなと思います。

これで基本目標の3まで来ましたが、ここまでで何かございますか。宿題がいろいろ残ってお

りますが、一応、この基本目標3まで意見を頂戴することができたと思います。

そうしますと、事務局、今日はこのあたりでよろしいですか。それでは、次回の委員会においても、

こんかい いいんかい かいさい あ どうよう じぜん だいじ あと じかい いいんかい  
今回の委員会の開催に当たってと同様に、事前というところが大事で、後がないので、次回の委員会

じぜん いけん いけん はんえい じょうだい あらた いいん みなさま いけん  
の事前に意見をいただき、意見を反映させた状態で、改めて委員の皆様より意見をいただきたいと

おも ごきょうりよく ねが  
思いますので、御協力をお願いいたします。

こんかい だい かい まえ じぜん いけん ちょうだい けいかくあん じむきょく  
今回の第6回の前にも事前の意見をたくさん頂戴して、それをこちらの計画案に事務局のほうで

はんえい たいへん おも じかい ねが  
反映させていただきましたので、大変よかったと思いますので、次回もよろしくをお願いします。

ほんじつ きょうぎじこう しゅうりょう  
それでは、本日の協議事項はこれで終了であります。

さいご しだい た じむきょく せつめい ねが  
最後に、「次第の4 その他」について、事務局より説明をお願いします。

じむきょく いいん みなさま みじか じかん なか たいりょう しりょう おく み  
【事務局】 委員の皆様には、短い時間の中で大量の資料をお送りさせていただき、見ていただき  
ながら、意見をいろいろ出していただきまして本当にありがとうございました。

いいんちょう いま じかい じぜん みなさま しりょう おく  
また、委員長が今おっしゃられたように、次回につきましても、なるべく事前に皆様に資料をお送  
りさせていただきたいと思っております。

じかい にってい かくにん だい かい かいさいよていび かん ぜんかい  
それでは、次回の日程について確認させていただきます。第7回の開催予定日に関しまして、前回  
いいんかい かくにん おこな れいわ ねん がつ にち すい どうじこく よてい  
の委員会におきましても確認を行いましたとおり、令和4年9月28日（水）同時刻を予定しており  
ますが、よろしいでしょうか。

いぎ  
（異議なし）

じむきょく じかい だい かい さくていいんかい がつ にち すい こご じ かいじょう  
【事務局】 それでは、次回、第7回の策定委員会は、9月28日（水）午後7時より、会場はいつ  
かい いいんかいしつ かいさい こんかい がつ にち さいご かんが すす  
もの2階の委員会室で開催いたします。また、今回、9月28日で最後と考えておりましたが、進み  
ぐあい がつ かいかいさい ほうこう すこ にっていちようせい  
具合によって、10月にもしかしたらもう1回開催させていただく方向で少し日程調整させていただ

くかもしれません。その際には、また皆様<sup>みなさま</sup>に御相談<sup>ごそうだん</sup>させていただきたいと思っておりますので、よろしく<sup>ねが</sup>お願いいたします。

本日の議事録及び第6回の資料に関しましては、準備<sup>じゆんび</sup>ができ次第、早急<sup>しだい</sup>に皆様<sup>みなさま</sup>に送らせていただきますので、しばらくお待ち<sup>まち</sup>いただければと思います。

【林大樹委員長<sup>はやしひろきいいんちょう</sup>】 ここまで来<sup>き</sup>ましたが、ここまで<sup>なに</sup>のところで何か質問等<sup>しつもんとう</sup>はございますか。

とく  
(特になし)

【林大樹委員長<sup>はやしひろきいいんちょう</sup>】 これで、第6回国立市地域福祉計画策定委員会<sup>だいい かいくにたちしちいきふくしけいかくさくていいんかい</sup>を終了<sup>しゅうりょう</sup>いたします。ありがとうございました。